

2022 年度 第 2 回 理窓博士会幹事会 議事録案

日時：2022 年 10 月 22 日(土) 19:00～20:00

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：秋山・矢部・西川・瀬尾・松田・石垣・永田・高橋・安藤・吉田・山本・土屋・宗正・福田・秦野・安田・川崎・森・八木（順不同敬称略）

共有資料

資料 1：2021 年度決算報告と 2022 年度の予算案

資料 2：2021 年度事業報告と 2022 年度事業計画

資料 3：学術奨励賞について

資料 4：学術賞・特別功労賞報告書（2022）

資料 5：2022 年度学位新取得者記念講演会・式次第案

資料 6：2022 年度学位新取得者記念講演会・講演会プログラム案

1. 2022 年度総会について

総会の式次第について石垣幹事から説明があり、了承された。2021 年度決算報告と 2022 年度予算案についてはすでに第 1 回幹事会で確認したとの説明があった。2021 年度事業報告及び 2022 年度事業計画について、資料 2 に基づいて永田幹事から説明があり承認された。当日の総会の司会および議長を矢部先生にお願いすることとなった。

2. 2021 年度第 16 回学術奨励賞の授与および 2022 年度第 17 回学術奨励賞の審査について

2021 年度（第 59 回学位新取得者記念講演会）第 16 回学術奨励賞の受賞者 3 名について、吉田幹事から資料 3 に基づいて説明があり、当日 3 名の方からご挨拶を頂くとのこと。受賞者にお渡しする盾の色味が変わるとの説明があり、承認された。第 17 回学術奨励賞の審査は昨年同様 Web 投票審査を用いて行うとのもので、そのプラットフォームについて説明があった。審査の協力依頼があった。

3. 2022 年度学術賞・功労賞について

・矢部幹事（選考委員長）から選考委員会での選考結果について、資料 4 に基づいて説明があった。学術賞受賞候補者 2 名、および特別功労賞候補者 2 名の説明があり、幹事会にて承認された。

・受賞者にお渡しする賞状ホルダーの質を上げたいとの提案があり承認された。

・今後の学術賞・功労賞の選考について秋山会長からコメントがあり、規定の見直しと国際化について検討を進めるとの話があった。

4. 2022 年度・学位（博士）新取得者記念講演会の式次第とプログラムについて

学位（博士）新取得者記念講演会の式次第とプログラム案について、資料 5,6 に基づいて永田幹事から説明があり、承認された。全体の司会や講演会の司会については後日依頼するのでご協力いただきたいとの依頼があった。

5. 役員リストと新規役員について

役員の改選について、是非引き続き担当いただきたい旨の依頼が秋山会長よりあった。また、矢部幹事、西川幹事、飯田幹事から顧問に移る動議があり、会長とも相談に上検討することとなった。

6. 理窓博士会若手の会活動報告・ディスカッション「未来への提言」について

・2022 年度新取得者記念講演会での企画として、理窓博士会若手の会活動報告・ディスカッション「未来への提言」を実施する計画について、安田幹事から説明があった。

- ・若手の会の活動費について申請があり、承認された。
- ・若手の会でデータ共有できるデータスペースや Web プラットフォームを持ちたいとのこと。外部サーバーやサービスを活用することを検討する案があった。

7. ホームカミングデーについて

- ・今年度のホームカミングデーの DR 会としての実施について、西川幹事から説明があった。博士会発足の祖である池田先生・樽谷先生や、博士会発足当時の様子等について紹介するオンラインブースを出展するとのこと。

以上